

第10回木質科学シンポジウム

今回の木質科学シンポジウムは、“今、木が面白い”、と題して、木材学会に根っこがあって、尖がった研究を夢中になって行っている化学系の3名の先生方に講演をお願いしました。講演では、先生方の学生時代からの研究歴（根っこ）を簡単に振り返っていただきながら、現在のお仕事について語っていただきます。

最後に、木材学会以外のコミュニティとの関わり、そこで得られるものについて、パネル討論会でお話しいただき、会場の皆さんと木材研究の拡がり、今後の方向性について議論を深めたく思います。

日時：平成29年6月24日(土) 14時50分～

会場：東京大学農学部フートサイエンス棟2F 中島ホール

プログラム：

総会 13:00 ～ 14:30

シンポジウム 14:50 ～ 17:40

会長挨拶 14:50 ～ 14:55

講演 14:55 ～ 16:55

「自然に学ぶ木質の新デザイン：リグニンの多様性と可変性」

飛松 裕基 先生（京都大学生存圏研究所）

「木の化学から組織・物性に挑戦する！」

榎本 有希子 先生（産業技術総合研究所構造材料研究部門）

「液晶と粘度と、ナノセルロースと私」

荒木 潤 先生（信州大学繊維学部）

パネル討論会 16:55 ～ 17:35

「今、木が面白い」 飛松先生、榎本先生、荒木先生

司会：矢野 浩之 先生（京都大学生存圏研究所）

閉会挨拶 17:35 ～ 17:40

意見交換会 18:00 ～ 19:30